愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	専門プロジェクトⅣ		
担当者(Instructors)	杉谷 正次	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

スポーツといえば、「プレーヤーとして参加する」以外にも、「指導する」「観戦する」「演出する」「地域振興に役立てる」など、さまざま捉え方ができる。 本授業は、「スポーツマネジメント」「スポーツビジネス」等の科目において専門的な知識を習得したうえで、そこで学んだ知識を実際の現場で実践することを目的とする。 そこで、本授業ではスポーツイベントを実際に企画・運営するプロジェクト型の授業として、「愛知東邦大学杯少年サッカー大会」のマネジメントに取り組む。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	グループワークでの授業を積極的に取り入れる。なお、本授業はスポーツイベントを実際に企画・運営することを目的としていることから、授業の後半は変則的なスケジュールでの運営となる。具体的には、「愛知東邦大学杯少年サッカー大会」の当日は終日現場での活動となることから、大会当日の活動を4コマ分相当の授業として振り替える。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	シラバスをもとに本授業の目的と内容、授業の進め方について説明する。	□
第2回	愛知東邦大学杯少年サッカー大会とは	これまで開催した大会の資料や映像資料をもとに、大会概要、目的などについて解説する。	□
第3回	大会実施要項の作成とスケジュールの検討	全体のスケジュールを検討し、大会実施要項、予算書、ポスター、役割分担表などを作成する。	□
第4回	大会参加チームの選定	大会参加チームの選定を行い、参加チームへの案内を行う。	□
第5回	協賛企業の募集と後援申請	大会協賛企業の募集活動と後援名義申請（サッカー協会、新聞社、ケーブルテレビなど）の手続きを行う。	□
第6回	報道機関との調整と広報活動	新聞社、ケーブルテレビなどへの広報活動について検討する。	□
第7回	大会実施に向けた準備（1）	大会で必要とされるグッズの手配、事前準備を行う。	□
第8回	大会実施に向けた準備（2）	大会で必要とされるグッズの手配や事前準備を行う。	□
第9回	大会実施に向けた準備（3）	大会で必要とされるグッズの手配や事前準備を行う。	□
第10回	大会実施最終打ち合わせ	大会当日の最終打合せを行う。	□
第11回	愛知東邦大学杯少年サッカー大会の運営（1）	大会を運営する。	□
第12回	愛知東邦大学杯少年サッカー大会の運営（2）	大会を運営する。	□
第13回	愛知東邦大学杯少年サッカー大会の運営（3）	大会を運営する。	□
第14回	愛知東邦大学杯少年サッカー大会の運営（4）	大会を運営する。	□
第15回	本プロジェクト授業のまとめ	本プロジェクト授業を総括する。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

授業前に各回の内容についての調べ学習をする（毎回2時間程度）。授業後は、授業前に調べたことや授業で取り組んだ内容をまとめるなど、授業の振り返りをする（毎回2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

授業で作成した資料や報告書については、教員および学生相互で検討し、全体で共有する機会を持ちます。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
主体性	◆ 2021地域ビジネスDP3	イベントプロデュースの実践の場で、多様な人と関わりをもって課題解決することを通じて、自らの課題実践力を高める課題を見出すとともに、自らのキャリアや能力開発の方向性を見いだすことができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			30%	70%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

成績評価については、作成資料の完成度やプレゼン、大会当日の活動状況等をあわせて総合的に評価します。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		